

福岡労基発 0828 第 2 号
令和 2 年 8 月 2 8 日

別記団体の長 殿

福岡労働局労働基準部長
(契印省略)

陸上貨物運送事業における労働災害防止に向けた一層の取組について
(トラック荷台からの転落防止等荷役災害対策の推進)

平素より、労働安全衛生行政の推進につきましては、格段の御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第 13 次労働災害防止計画(福岡局版)(以下「13 次防」という。)では、陸上貨物運送事業における死傷者数を、令和 4 年までに、平成 29 年と比較して 7%以上減少させることを目標としています。

しかしながら、令和元年の陸上貨物運送事業の死傷者数は 802 件で、平成 29 年との比較では 7.9%の増加となっており、目標とはかけ離れた状態であり、この増加傾向は今年に入っても収まらず、13 次防の目標達成に向けてなお一層の取組が必要となっております。

また新型コロナウイルス感染防止の影響により、宅配需要が急増する中、社会生活の維持に不可欠な業務に取り組まれているところですが、こうした状況下では、労働者が安心して安全に働き続けることがこれまで以上に重要であり、労働災害防止のための更なる取組が必要です。

死傷災害の発生要因としては、荷役作業時における労働災害が全体の約 7 割を占めています。荷役作業時の労働災害では特に荷台からの転落が多く、うちトラック荷台等への昇降時に発生するものがその約 4 割を占めています。

厚生労働省では、平成 25 年 3 月に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」を策定するなど労働災害防止対策に取り組んでいるところですが、今般、厚生労働省と独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所において、トラック荷台への昇降による転落災害を防ぐための安全対策について、別添のリーフレットを作成しました。また、福岡労働局においても労働災害防止のためのリーフレットを作成しました。

つきましては、貴団体におかれましても、現下の労働災害発生状況について貴団体傘下会員に共有していただくとともに、これを契機として、貴団体傘下の関係事業者、労働者はもとより、荷役作業に関わるトラックドライバー等に対して、荷台昇降時の災害を含めた荷役作業時の安全対策について周知、活用いただき、より一層の安全対策の推進に取り組んで頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

(別添)

リーフレット「労働災害が増えています。荷物の積み降ろしを安全に」

リーフレット「陸上貨物運送事業におけるトラック荷台からの転落を防ぐために 荷台昇降設備・装備はありますか？」

リーフレット「陸上貨物運送事業者様・働く皆様へ！労働災害が増加しています！今こそ、災害防止のための積極的な取組みが必要です！」

(参考)

- ・「陸上貨物運送事業における重大な労働災害を防ぐためには」
- ・「テールゲートリフターを安全に使用するために」

- ・厚生労働省ホームページ(安全衛生関係リーフレット一覧)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/gyousei/anzen/index.html

- ・独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所サイト

https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2020_02.html

- ・福岡労働局ホームページ(労働安全関係リーフレット)

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/content/contents/000691936.pdf>

(別記)

公益社団法人福岡県労働基準協会連合会

建設業労働災害防止協会 福岡県支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 福岡県支部

林業・木材製造業労働災害防止協会 福岡県支部

中央労働災害防止協会 九州安全衛生サービスセンター

福岡県経営者協会

福岡県商工会議所連合会

福岡県商工会連合会

福岡県中小企業団体中央会

一般社団法人福岡県建設業協会

公益社団法人福岡県トラック協会

一般社団法人日本ボイラ協会 福岡支部

一般社団法人日本クレーン協会 福岡支部

公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会 福岡事務所

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 福岡県支部

一般社団法人日本建設業連合会 九州支部

一般社団法人福岡県機械金属工業会連合会

久留米鉄工団地協同組合

ブリヂストン久留米工場 ブリヂストン久留米地区安全衛生協力会

ダイハツ九州(株)久留米工場 安全衛生協力会久留米分科会

飯塚市飯塚団地工業会

庄内工業団地協議会

福岡県北部鉄工協同組合
グリーンヒル幸袋工業団地
協同組合築地会
夕原工業団地協同組合
戸畑新工業団地協同組合
協同組合安協会
八幡鉄工業協同組合
洞海若松工業団地協同組合
響工業団地協同組合
二島工業団地協伸会
黒崎新志会
日本製鉄八幡製鐵所 八新会
三菱ケミカル(株) 黒崎安全衛生協議会
安川電機 安全衛生協力会
黒崎播磨 安全衛生協力部会
三菱マテリアル九州地区 安全衛生協力会 黒崎分会
日鉄エンジニアリング 安全衛生協力会
日本製鉄(株) 安全衛生協力会
九築工業 安全衛生協力会
日本コークス工業 安全衛生協議会
日揮触媒化成 安全衛生協力会
トーカイ協力会
日立金属構内安全衛生協議会
東京製鐵安全衛生協力会
日本鉄塔協力企業安全衛生推進会
田野浦大久保地区災害防止協議会
新門司地区安全衛生協議会
直方工業団地協同組合
鞍手工業団地協同組合
中泉団地協議会
明神池工業団地協議会
御徳工業団地企業連絡協議会
古門工業団地安全衛生協議会
黍田工業団地協議会
桐野工業団地協議会
宮田笠松地区安全衛生協議会
直方鉄工協同組合
小竹団地協議会
トヨタ自動車安全衛生協力会
豊前東部地区企業連絡協議会

広川中核工業団地連絡会 安全衛生委員会

宇美町早見工業団地企業連絡協議会

須恵町工業団地安全衛生協議会

久山地区安全衛生協議会（原工業団地、赤坂工業団地）

登り尾工業団地連絡協議会

福岡東鉄工団地協同組合

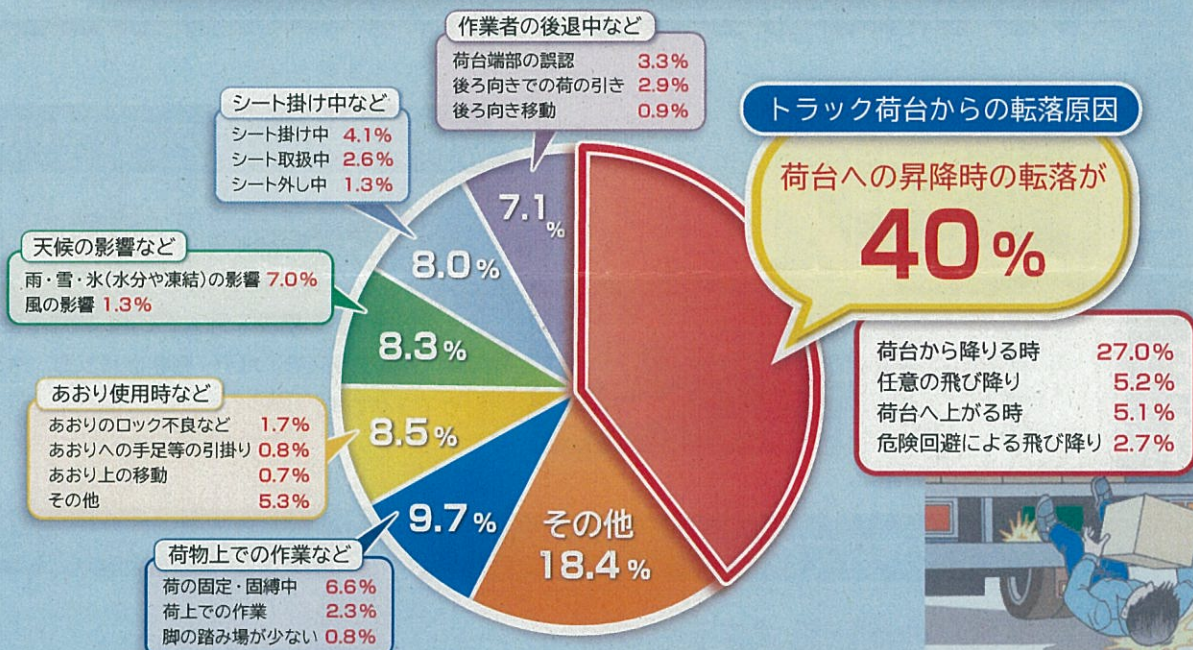
宇美町若草工業団地労働安全衛生協議会

古賀市工業団地十五日会

陸上貨物運送事業における トラック荷台からの 転落を防ぐために

荷台昇降設備・装備はありますか？

陸上貨物運送事業（トラック運送事業）における労働災害は、荷役作業中に発生したものが全体のおよそ7割を占めています。特に荷台からの転落が多いことが知られていて、このうちトラック荷台等への昇降時に発生するものがその約4割を占め、とりわけ荷台から降りる時が約3割を占めることが分かりました。このほかの原因による労働災害は、各要因とも1割にも満たないなど、「荷台から降りる時」などの昇降時が突出しています。このため、本リーフレットでは、トラック荷台への昇降時の労働災害を防ぐために、最新の安全対策とともに、転落防止に役立つチェックポイントを紹介します。



平成27年に発生した陸上貨物運送事業の休業4日以上災害を対象にした労働安全衛生総合研究所の分析結果
(トラック荷台からの転落等による災害データのみを抜粋)



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

NIOSH

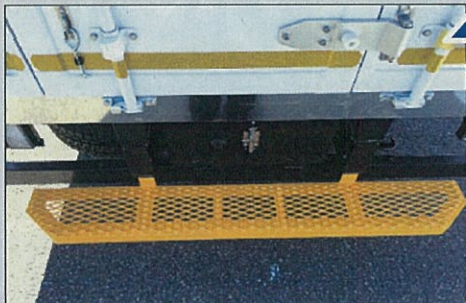
落ちないポイント

1

トラックの荷台は元々高くてワンステップでは上れません。
もちろん飛び降りもしてはいけません。
ステップを用意することで無理な昇降になりません。

リヤとサイドにステップを付けて昇降性向上!

荷台へ昇降しやすい装備 (ステップ利用①)



「リヤステップ」

バン型車のリヤステップ部を網状にすることで、滑り止めの効果を持たせます。また、降雪時でも雪等が積もりにくくなります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷凍冷蔵、ウイング、平ボディです。

荷台へ昇降しやすい装備 (ステップ利用②)

「サイドステップ」

バン型車のリヤ・サイドステップ部に突起のある穴あけ加工をすることで、滑り止めの効果を持たせます。また、降雪時に雪等が積もりにくくなります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍です。



トラック荷台からの 転落防止

バン型車のリヤステップ利用

「リヤ階段ステップ (格納式)」

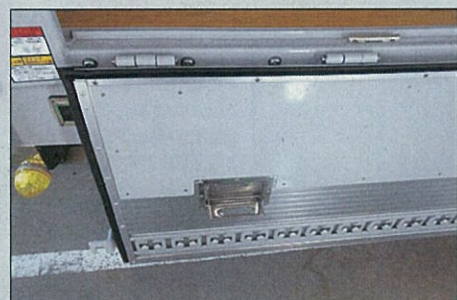
リヤドアの下部に取付けて、リヤドアから昇降するための格納式の階段ステップです。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍、ウイングです。



ウイング車のサイドステップ利用

「あおり内側回転式ステップ」

あおりの内側に、あおりを下ろした際に回転してステップとなる部分があり、このステップを利用すると荷台への昇降が容易になります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はウイングです。

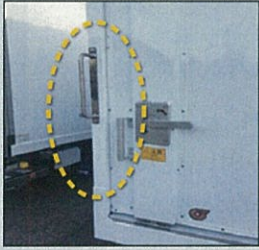


な対策

グリップを持つことで、ステップから足を滑らせたり、踏み外した場合でも、転落事故を防ぐことができます。荷物を持ちながらの昇降をしてはいけません。

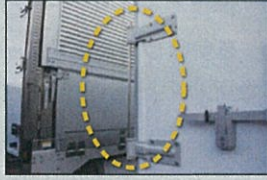
落ちないポイント
2

荷台へ昇降しやすい装備（グリップ利用①）



▲ 鋼製グリップ

▼ ヒンジ連結タイプ



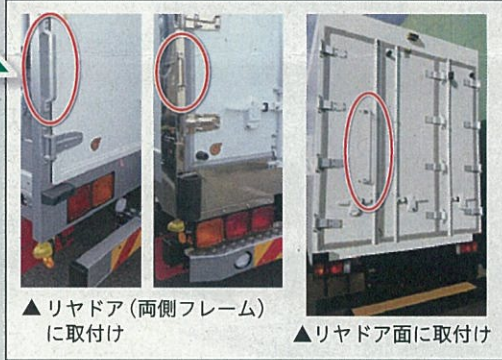
「リヤフレーム部グリップ」

グリップを取り付けすることで、荷室・庫内への昇降が安全に行えます。また、ヒンジ連結の長丈タイプはドライバーの身長に関係なく使用できるのが特徴です。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷蔵、ウイングです。

荷台へ昇降しやすい装備（グリップ利用②）

「リヤドア面グリップ」

リヤドア面（両端フレーム）にグリップを取り付けて、庫内および庫外に安全に昇降する時のグリップです。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷蔵、ウイングです。

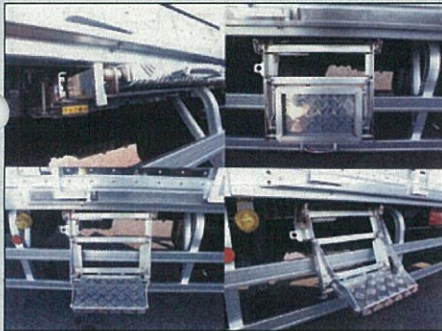


▲ リヤドア（両側フレーム）に取付け

▲ リヤドア面に取付け

対策 はここまで進んでいます。

ステップとグリップの合わせ技でがっちり3点支持



格納式サイドステップ利用

「格納式ステップ」

ボディより外側に可動式のステップを取り付けることで、昇降性を向上します。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷蔵です。

持ち運び可能なステップ利用

「手すり付荷台用ステップ」

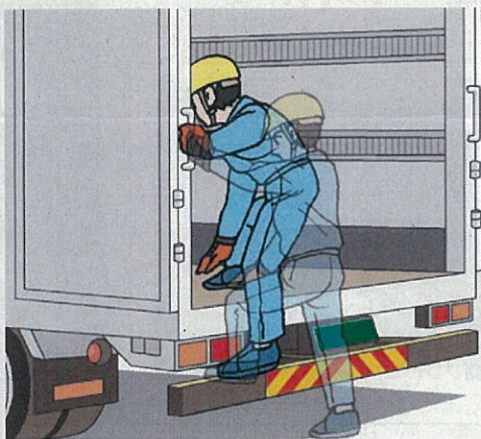
荷台への昇降に、あおりを立てたままでも、下ろしても設置可能なステップです。天板もついているので、身体の向きを変えることもできます。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はウイング、平ボディです。



荷台への昇降中における 転落防止チェックポイント

確認してみよう！ 作業手順・マニュアルを再点検

あなたの事業場では、荷台への昇降手順は適切ですか？ ①～③を参照し、点検してみましょう。
不十分な場合は、本リーフレットで紹介した装備の追加、手順・マニュアルの見直し等を実施しましょう。
注) グリップやステップ等を装備する際には、道路運送車両法の保安基準に適合しているか十分に確認してください。



1 バン型車のリヤ部



リヤドアフレームに装備したグリップ(取手)を持ち、足元を見ながらリヤドア下部のリヤバンパーまたはステップに片足をかけて、荷台に上がります。降りる時もグリップを持ったままステップに足をかける順序で、荷台内側を正面にみて後ろ向きに降ります。車体形状の都合上、両手でグリップを持てませんが、荷台の床面に手を添えると前屈み姿勢になるのでより安定します。



2 バン型車のサイド部



ドアフレームに装備したグリップ(取手)を持ち、足元を見ながら、サイドステップに片足をかけて、荷台に上がります。降りる時は上がる時の逆の順序で移動します。ちなみにサイド部はグリップをドアフレーム両側に装備できる場合が多いようです。両手で持つと身体の姿勢が安定し、より安全に昇降できます。



3 ウイング車、平ボディ車のあおり



あおりを下ろした時は、ステップだけでなくグリップ(取手)や手がかりがないので昇降するのが困難です。あおり内側回転式ステップの装備、持ち運び可能な荷台用ステップ等を使用しましょう。グリップは車体内部あるいは荷台床面に装備するか、車体の柱等をグリップ代わりに活用しましょう。

本リーフレットの写真等は、国土交通省及び(公社)全日本トラック協会が設置した「女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会」で取りまとめた成果「【別冊】トラックメーカーなどの取組事例集」から引用しています。



このQRコードから別冊が入手可能です

陸上貨物運送事業者様・働く皆様へ！

労働災害が増加しています！

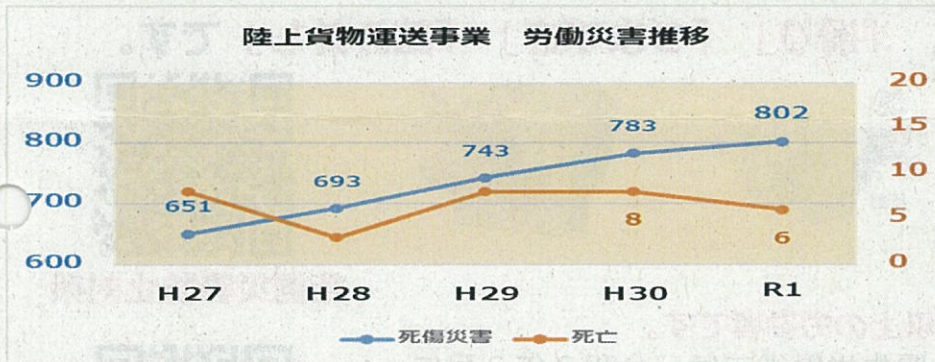
今こそ、災害防止のための積極的な取り組みが必要です！

～あなたの模範となる行動が、労働災害を防ぐことに繋がります～

福岡県内の陸上貨物運送事業における休業4日以上死傷者数は、年々増加を続け、令和元年は、ついに**802件**となり、令和2年に入っても、増加傾向に歯止めがかかりません。

災害の内容は「**墜落・転落**」「**動作の反動・無理な動作**」「**転倒**」の3つで約6割を占めています。災害の程度は、**休業1月以上**が5割を超え、重症化が進んでいると言えます。

今こそ、事業者様・働く皆様の労働災害発生防止のための積極的な取り組みが必要です。



事故型別災害
発生件数トップ3

墜落・転落

動作の反動・
無理な動作

転倒



1 トラック・荷台等からの「墜落・転落」災害防止対策

- 荷役作業者は、安全な作業方法を遵守すること！
- 墜落時保護用の保護帽を着用すること！
- 昇降設備の使用の徹底とあおりを立てる場合には必ず固定を！
- 荷台等への昇降時は、3点確保の徹底を！（手足4点の内の3点）



2 「動作の反動、無理な動作」による災害防止対策

- 荷役作業を行う前に準備運動を行うこと！
- 特に、長時間の貨物自動車の運転の後には、直ちに荷役作業を行わず、少なくとも数分間は立った姿勢で腰を伸ばす！
- 中腰の作業姿勢など不自然な作業方法をとらない！
- 重量物（ロールボックスパレット等）を押す場合には、荷に身体を寄せて背を伸ばし、上体を前傾させて前方の足に体重をかけて押す！
- 重量の重い荷は、2人以上で扱う！
- できるだけ台車等を使用する！



荷役作業安全対策(事業者用)



荷役作業重大災害対策



3 「転倒」災害防止対策

荷役作業を行う労働者の遵守事項

- ・荷役作業を行う前に、貨物自動車周辺の床・地面の凹凸等を確認する！
- ・後ずさりでの作業はできるだけ行わない！
- 荷役作業場所等に合わせて、耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用！
- 荷役作業場所の整理整頓、床・地面の凹凸等のつまずき原因をなくす！
- 荷役作業場所の段差をなくす、手すりの設置する、床面の防滑化！
- 台車等の使用！（荷物で手がふさがっていると転倒しやすくなるため）

転倒災害の主な原因は、「滑り」「つまずき」「踏み外し」です。



転倒災害防止対策

4 高齢労働者対策

被災者の約5割が50歳以上の労働者です。

高齢労働者対策について、厚生労働省では、令和2年3月に「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)を策定しました。

このガイドラインは、高齢者を現に使用している事業場などで、事業者と労働者に求められる取組を具体的に示したものです。是非ご活用ください。



高齢労働者対策

5 交通労働災害防止対策

<input type="checkbox"/> 適正な労働時間等管理・走行管理	<input type="checkbox"/> 教育の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・走行の開始・終了や経路についての計画を作成する。 ・早朝時間帯の走行を可能な限り避け、十分な休憩時間、仮眠時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 以下を含め、雇入れ時などや日常の安全衛生教育を実施する。 ・十分な睡眠時間の必要性の理解 ・飲酒による運転への影響の理解
<input type="checkbox"/> 点呼の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・交通危険予知訓練による安全確保
<ul style="list-style-type: none"> ・疲労、飲酒などで安全な運転ができないおそれがないか、乗務開始前に点呼によって確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全情報マップによる実態把握
<input type="checkbox"/> 荷役作業を行わせる場合	<input type="checkbox"/> その他
<ul style="list-style-type: none"> ・運転者の身体負担を減少させるため、必要な用具などを備え付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通労働災害防止のための管理者を選任し、目標を定める。 ・運転者に対し、健康診断や面接指導などの健康管理を行う。 ・異常気象や天災の場合、安全の確保のため走行中止、徐行運転や一時待機など、必要な指示を行う。 ・自動車の走行前に自動車を点検し、必要に応じて補修を行う。
<input type="checkbox"/> 交通労働災害防止の意識高揚	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生状況などを記載した交通安全情報マップを作成する。 ・ポスターや標語を掲示して、安全について常に意識させる。 	



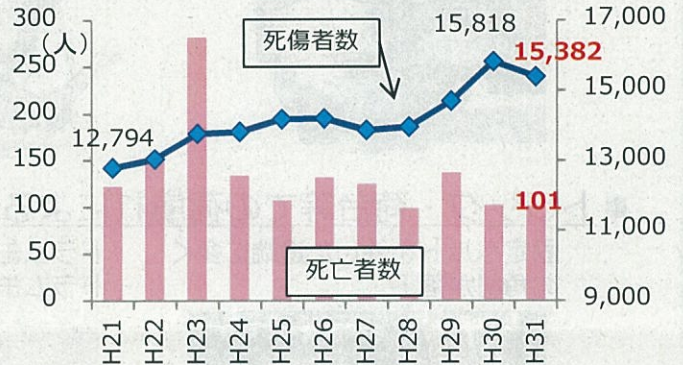
交通労働災害防止対策

労働災害が増えています！ 荷物の積み降ろしを安全に

平成31年／令和元年の労働災害（陸運業）

- ◆ **死亡者数は101人。**
 - ・ 平成29年比で36人（26.3%）減少。
- ◆ **死傷者数は15,382人。**
 - ・ 平成29年比で676人（4.6%）増加。
- ◆ **災害発生率（千人率）は8.55**
 - ・ 全産業平均2.22

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況の推移

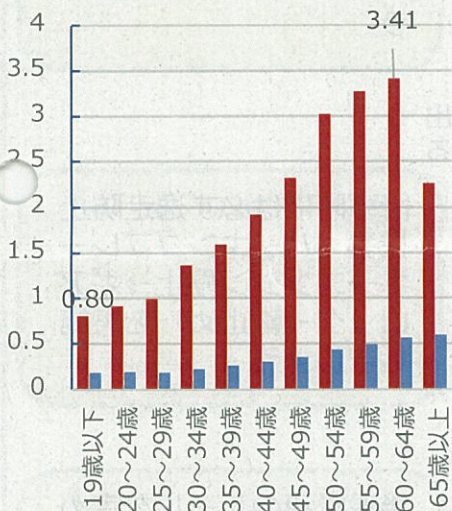


陸上貨物運送事業では、働く人1000人当たりの災害発生率（千人率）が、他の主要な産業と比べてかなり高い水準になっています。キケンな作業をそのままにせず、従業員の命と健康を守るため、作業方法などの見直しに着手してください。

詳細は裏面

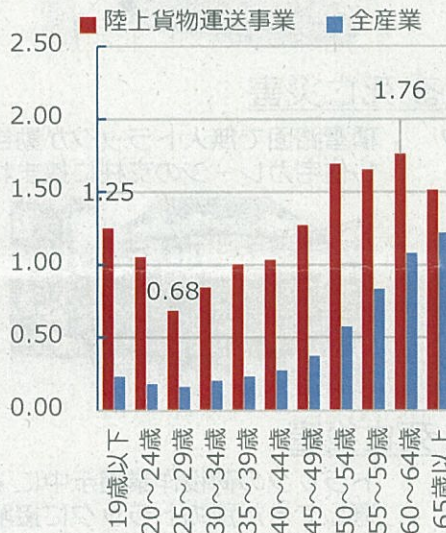
年齢が上がるほど
転落しやすいので注意

墜落・転落災害の年齢別
年千人率（2019年）



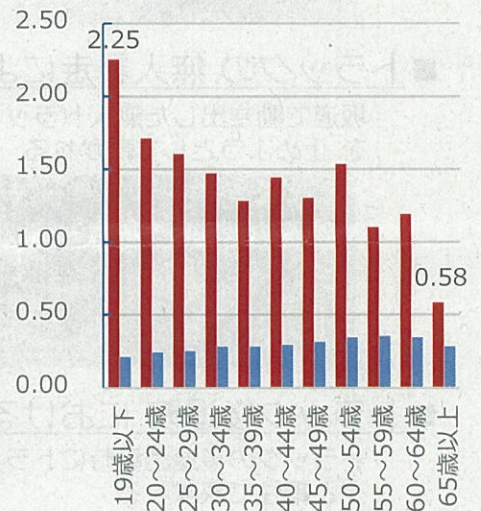
50代、60代に加え、
20代前後も転倒に注意

転倒災害の年齢別
年千人率（2019年）



腰痛は若年ほど多い
無理させていないか

動作の反動・無理な動作災害の
年齢別年千人率（2019年）



令和2年5月末現在の労働災害（陸運業）

○令和2年の死傷者数は、前年同期比2.0%増加 13次防基準年の平成29年同期比4.3%増加。

今年に入ってから前年比で増加しています



荷役作業時の死亡災害にみる災害パターン別の主な原因と対策

いつもの作業の少しの不具合が、重大事故につながります

■ トラック・荷台等からの墜落・転落による死亡災害

足を滑らせてリアバンパーから
転落



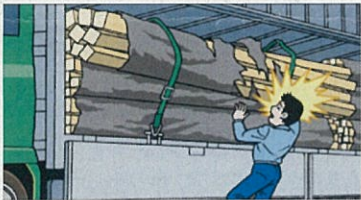
テールゲートリフターから
転落



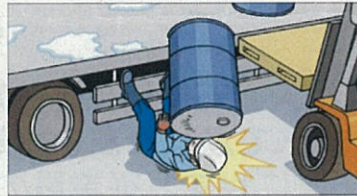
必ず保護帽を着用しよう
荷台へのステップなど昇
降設備を設けましょう

■ トラック・荷台等での荷崩れによる死亡災害

固定ベルトを外した途端に多く
の角材が落下



ドラム缶とともに転落。
ドラム缶が被災者に直撃



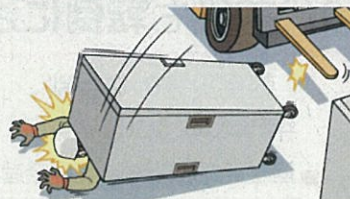
荷崩れしないよう、積み
付け時に、適切な固定・
固縛を行いましょ

■ フォークリフト使用時における死亡災害

歩行者立入禁止エリアにいた被
災者がフォークリフトと接触



フォークリフトアップ（上昇）時の
安全不確認により被災者がコールド
ロールボックスパレットの下敷きに



フォークリフトのオペ
レーターやその周囲の作
業者は、定められたルー
ルをしっかり守りましょ

■ トラックの無人暴走による死亡災害

坂道で動き出した無人トラック
を止めようとして轢かれる



積雪路面で無人トラックが動き出
し住宅ガレージの支柱に挟まれる



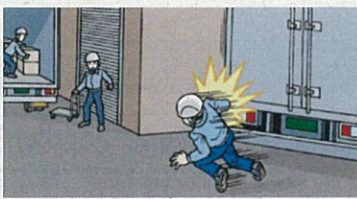
降車時には必ず逸走防止
措置（パーキングブレ
ーキ→エンジン停止→ギア
ロック→輪止め）を実施
しましょ

■ トラック後退時における死亡災害

トラックの後退誘導時にトラッ
クと電柱に挟まれる



トラックの荷役作業指示中に後
退してきた別のトラックに接触



後退誘導のルールを定め
ましょ
トラックを後退させるの
は後方確認ができるとき
だけにしましょ

荷役作業を安全に行えるよう、床の凹凸をなくしたり、明るくしたり、整理整頓を行うなどの基本的な対策も大切です

陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドラインをご活用ください

